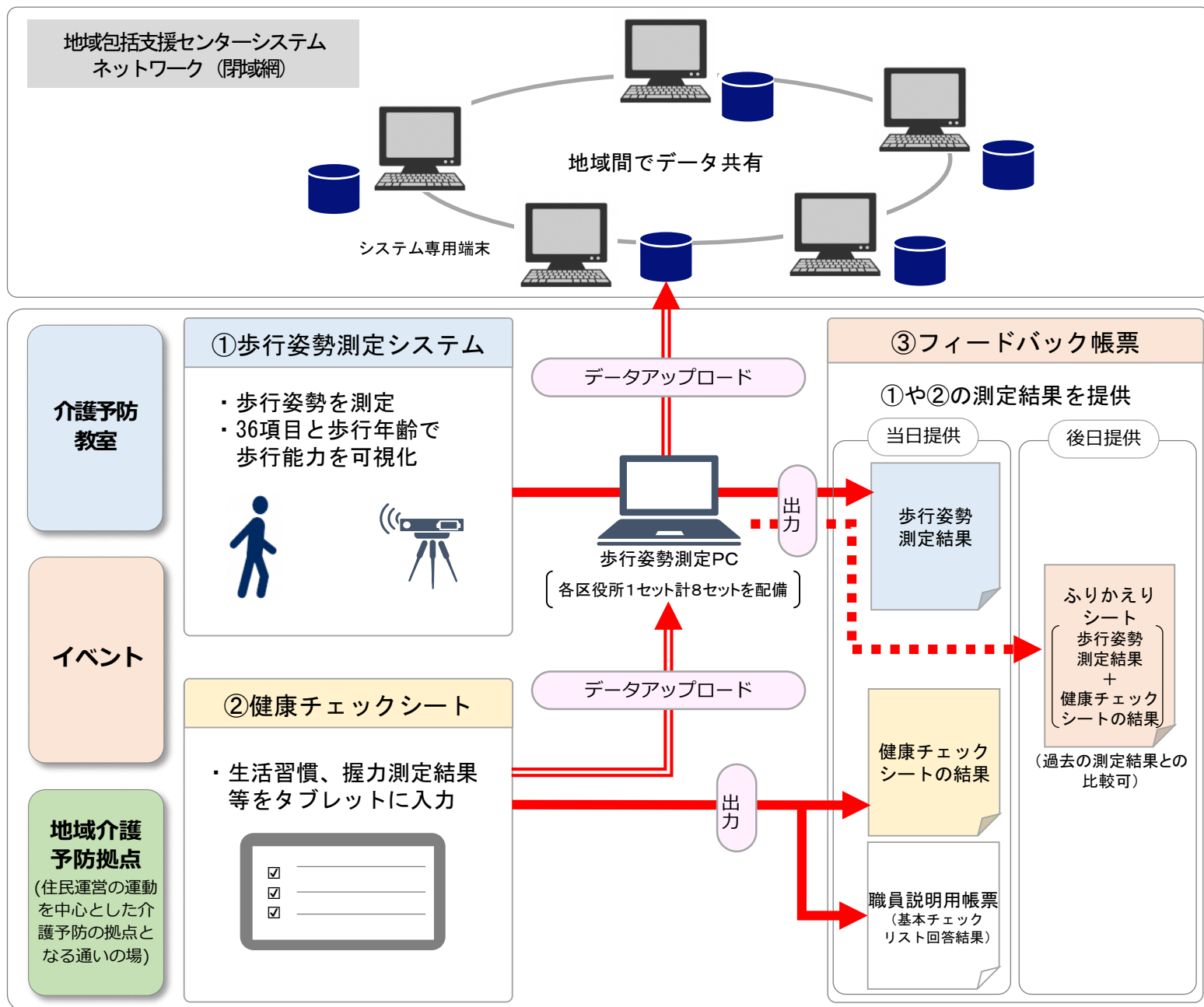


デジタル技術の活用によるフレイル予防推進事業 全体イメージ



歩行姿勢測定システム

【歩行姿勢測定システムとは】

◎ 特別なものを身に着けることなく3Dセンサーに向かって歩くだけで、「歩く姿勢」を数値化し、身体全体の歩行姿勢を年齢と性別に応じた基準で点数化できるシステム。

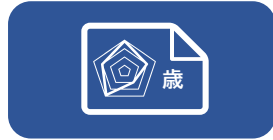
特



センサーに向かって歩くだけ
大掛かりな設備は不要

マーカーを身に着けることや多数のセンサーを設置する大掛かりな機器や測定ノウハウは不要。

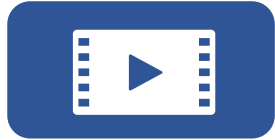
3Dセンサーに向かって普段通りに約6m歩くだけで20の身体特徴点を検出し、測定できる。



測定結果は年齢・性別に応じた基準で点数化

「歩く速さ」「揺れ」「左右差」「身体の軸」「腕振り」「足の運び」の6つの分類で5段階評価を行う。

全身の歩行姿勢を36項目測定し、年齢と性別に応じた基準で点数化するとともに、6つの分野の測定結果から、何歳の歩行能力であるかを表示する。



前・後・横からの歩行の様子をスティックピクチャで再生

1回の測定で、前方・側方・後方からの歩行の様子をスティックピクチャで動画再生する。スティックピクチャにより表現することで、表情や体形による先入観を排して歩行姿勢を確認することができる。

徴



測定結果比較により取組効果が把握可能

過去の測定結果との“前後”比較で取組の効果を把握するとともに、今後何を意識したらよいかという動機付けにも役立つ。また、歩行姿勢で特徴的な「歩行速度」「歩幅（左右）」「胸腰部の上下動」「足の上がり角度（左右）」を数値で表示し、その人に適した定量的な改善行動に繋げることができる。



姿勢に応じたエクササイズを提案

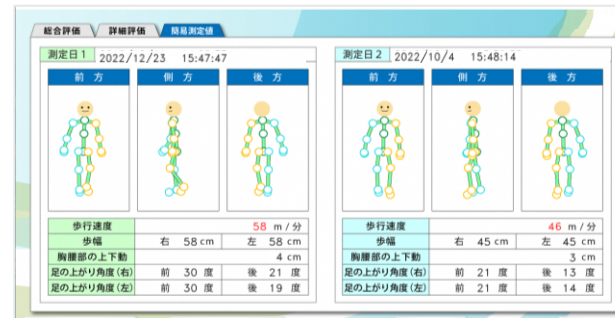
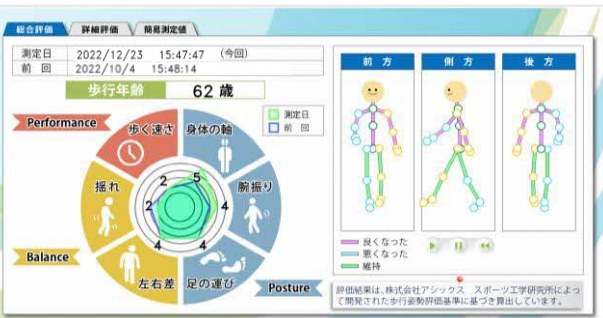
測定結果に応じて、歩行姿勢を改善するための運動プログラム（筋力トレーニング、ストレッチ）を提示する。一般的なプログラムだけでなく、高齢者でも取り組みやすい負荷の少ないプログラムもあるため、幅広いシーンで利用できる。

帳 票 イ メ ー ジ

総合評価（歩行年齢・スティックピクチャ）

詳細評価（36項目の評価）

簡易測定値（歩行姿勢で特徴的な数字表示）

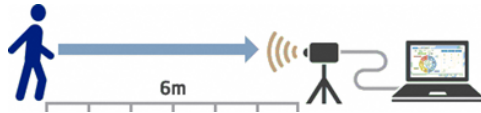


心身の状態の可視化と多職種による効果的な助言・指導

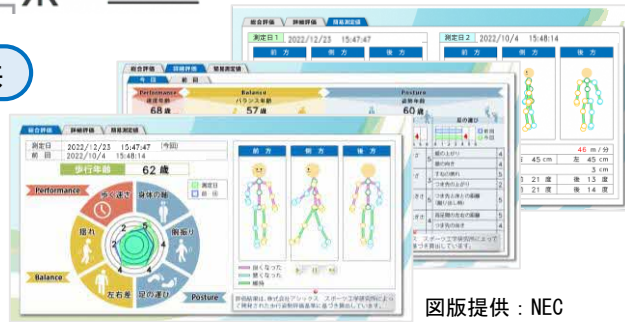
高齢者の心身の状態を可視化することにより、高齢者のフレイル予防への関心を高め、自主的な取組を一層促進するとともに、リハビリ専門職（理学療法士・作業療法士）や地域包括支援センター職員による高齢者の状態に応じた助言・指導を効果的に行う。

また、蓄積したデータの分析により、地域・集団の特性に応じた生活指導や全市的なフレイル予防の対策につなげる。

①歩行姿勢測定結果

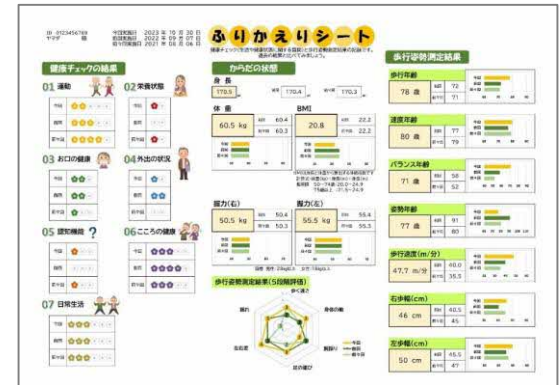


当日提供



図版提供：NEC

後日提供



※ 複数回測定した場合、①歩行姿勢測定結果及び②タブレットによる健康チェックの結果を基に「ふりかえりシート」を作成。過去の測定結果との比較が可能。

②タブレットによる健康チェックシートの結果

-
-
-

当日提供

健康チェックシートの結果

運動 【☆☆☆☆】 日常生活 【☆☆☆☆】

● 身体
身長 11.0 m 体重 46.2 kg

● 栄養状態 【☆☆】

● 認知機能 【☆☆☆☆】

● 口の健康 【☆☆☆☆】

【本人用】

健康チェックシートの結果

項目	スコア	評価
運動	4.0	良
日常生活	4.0	良
身体	4.0	良
栄養状態	3.0	中
認知機能	4.0	良
口の健康	4.0	良

【従事職員用】

- 歩行姿勢測定結果を基に具体的な支援を行うため、広島県PT/OT/ST連絡協議会の協力の下、広島市独自の体操を作成
- 作成した体操は通いの場等で活用するとともに、市公式チャンネル（YouTube）で配信予定